

★親子連れが和竿の貸し竿で江戸前のハゼ釣りを満喫



▲主な釣り場は木更津港内の水深3メートル前後



▲底を小づいて誘う
▼アタリがきたら糸をたぐって取り込もう



▲リールタックルもOK



▲10センチ以上の良型そろい
▶50~60尾の人が多かった
▼2本竿を操るベテランは軽く1束超え

小粋な釣り

東京湾奥深川出船 木更津沖の浅場で好況 和竿で楽しむ江戸前のハゼ

▶富士見の竹製の貸し竿は全長1.8メートル前後の糸巻き式



▲エサのイソメのタラシは2センチほど
▶振り分け式の仕掛けで一荷



東京湾奥の老舗船宿・深川「富士見」が秋々年末の看板に掲げる釣り物の一つがハゼ。今年も10月から開始し、木更津沖の水深3メートル付近を流して10〜15センチの良型主体にトップが楽に1束を超える好況が続いている。

ハゼ乗合はリールタックルでも楽しめるが、取材日は中通しの和竿で楽しむベテランが多く、ハネ込みで釣れる水深2メートルほどの浅場も狙った。同宿には和竿の貸し竿もあるので、今も息つく江戸前のハゼ釣りをぜひ体験してほしい。

(詳細は58ページ参照)



▲ビル街を見上げながら運河を下り海へ出る
◀船宿は屋上の大看板が目印。ハゼ乗合は3名以上で出船



◎東京湾奥深川・富士見 登藤 晃弘船長